

# 琉球大学学術リポジトリ

## 日米関係（沖縄返還）10

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-13 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/43785">http://hdl.handle.net/20.500.12000/43785</a>

久平内信  
二〇  
二四

外務省  
参事官  
参事官  
参事官

秘  
無期限  
第13号  
第13号

対独の公債と償還の件  
44.10.24 参事官

一  
段  
回  
答  
を  
求  
む

10月24日 対独公債と償還の件  
同日の公債と償還の件

1. 財政問題

(1) 500 mil と云ふ数字を以て 償還の  
能力を以て 償還に 影響を及ぼす 等の 方針は

あり 半額は 償還の 換金に 関係する  
等の 数字に 案内 措きと云ふ こと 知らしむ

取形に 対し 極力 昨年の 要領 以上の 程に  
努力 せらる

(2) 借入金の 償還の 問題は 軍費 削減が 旨  
で 案内 なる 場合 政府 有期限の 社会保

障 基金を 毎年度に 充て 償還に 案内

肩書と(規定 4.54万部) と云ふ 数字  
は 公債 と 云ふ こと 2次 償還 方針 決定

を 示す こと あり

(1) 案内 方針 見出し には residual base  
right (従日 やか 2次 償還 基礎に 関係し

て 償還 数字 2.12 等の 数字 今から

起す 償還 数字 2.12 等の 数字 今から  
考へ 償還 (案内) 数字 2.12 等の 数字

は 案内 あり かつ 同の 意 内訳を 復元 する 必要  
あり 右の 数字 数字 2.12 等の 数字

(2) Relocation  
統一 案内 Relocation に 500 mil 等の

数字 案内 あり 償還 数字 2.12 等の 数字

見込みが如何

以上一 1915年の12月 那覇港及び那覇空港  
の通過を等しとあり 其の他 船隻の一部

及び 那覇港及び那覇空港の通過を等しとあり  
とあり 其の他 船隻の一部

本元一 那覇港及び那覇空港の通過は public relation  
の便地から知識に結構とあり 船隻の一部

以上以上と見込みが 那覇港及び那覇空港に  
おける等しとあり 其の他 船隻の一部

陸軍の Hamby 艦隊の 結核信 2053

以上一 自衛隊を12月 其の他 船隻の一部  
等しとあり 其の他 船隻の一部

と見203

本元一 那覇港への relocation 50 ml 12

結核信の relocation 2053

以上一 那覇港及び那覇空港の通過を等しとあり  
其の他 船隻の一部

以上 那覇港及び那覇空港の通過を等しとあり  
其の他 船隻の一部

- (参) 1. 本元 双方 見込み 2053
- 2. 其の他 船隻の一部 結核信 2053
- 3. 其の他 船隻の一部 結核信 2053

(所) 在沖港 米國人の 結核信 2053

外務省 結核信 2053 (本元) 結核信 2053

以上 那覇港及び那覇空港の通過を等しとあり  
其の他 船隻の一部

考案を 従つて 米軍の如く 砲隊の永久  
的 continuation は不可なりを指摘

銀方以前より 考案を考へざるを旨(也)

(一) 大蔵省 財政省の 法会は 新法 12月28日  
24日 野の 会談は 建設的であり 証

りゆく 首席は 米軍を 一日起つて 25日 福  
木 財政省と 米軍 会談するに 22日 米

2. VOA

事の上 総理 官房長官より 格別 慎重に  
あり 解決 困難 なる 旨 示すに 始り  
(状況は)

と 候より (一) この 問題は 日米の posture の  
問題 なる 旨 示す 際 米 側 接 続 是 認

め 示し たる 旨 示す 際 格別 慎重 なる 旨  
示す こと あり (二) 是れは 野 側 にも 示す 旨 あり

14 清少島 には 朝鮮半島 附近 諸島 には  
他 南支 には 達する 旨 あり 仰 候

地 理 的 的 最 適 意 旨 諸 島 接 続 的 に  
開 発 する 旨 (一) 自 衛 隊 艦 隊 等 意 旨

あり 2 北 支 之 火 災 等 事 件 には 米 側 尚  
年 一 回 程 70% 程 の 協 助 を 示 した 旨

と 示 した 旨 あり 是 等 諸 島 諸 島 諸 島  
諸 島 諸 島 諸 島 諸 島 諸 島 諸 島 諸 島

2. 朝鮮半島

23日 会談 中 「意 旨 示 した」 旨 解決 した  
が 米 方 領 土 の 問題 には 21日 米 方 領 土 領 土

に 接 した 旨 あり 総 理 大 蔵 省 会 談 中 接 続  
的 示 した 旨 あり 然 り 米 方 領 土 領 土 領 土

2 領 土 領 土 領 土 領 土 領 土 領 土 領 土 領 土

から 昨年の決算を *pre. 24-25* に  
して、他方回運を去る料が18%あり

限るに在り、同年度の *pre. 24-25* であるから、そ  
れ以外に同年度の *pre. 24-25* は *24-25* かと

云々が弱するを *24-25* 上の *24-25* に急務に  
る。(以上は *24-25* の *24-25* に *24-25* に)

借入金は *24-25* の *24-25* に *24-25* に  
た)



あり、日本は ~~FOR THE RECORD~~ あり、書翰書出は FOR THE RECORD  
にこれおしこしと答へた。 局長功先年

總理訪米の際、総統は沖繩問題の2024年率引の旨  
であった、と述べた。(右が右方外務省の対日  
大使館 通訳要求に因りてあること)

2. コニニニ

(1) 局長が 總理訪米の結果 才一項の「その  
国に相応に、亦才一項の「台湾地域に

おける武力による威嚇... 想起し、は前  
除し左方 <sup>(4年)</sup> との總理の感觸を述べた。亦  
もともと米国の台湾防衛義務も引出された。亦挑発的  
でない方法とに 考へたことあり。さうして

後者は2024年 国会で「米側からいつ、と以て提  
案されたか、と 3つを 疑問とした。後者、か

導入部分と 2に ESSENTIAL である。 <sup>この總理と2に</sup>  
STREAMLINE (た「意向とみられた。)

二は、対し「2、より、米側の提案云々 2024年

ワルイ-公 宣の記録になつており、  
必要に依り 自前例に資料が提供出来る

を 説明し左の3、 外國政府関係、即ち  
國府と 韓國の 言及の11.5.25の 趣旨

(単に言及の長文 44でなく トーンが大事) <sup>1の</sup>  
考慮上 ワルイ-公 削除に反対を述べ

知らぬか 悉く角 請訓に 2あり、と述べた。

(2) 局長が コニニニ には 沖繩 以外の 3項を

入札に 左の 11.5.25 の 趣旨 であると述べ、  
「2、より、<sup>1の</sup> 對 70.5.25 説明の 11.5.25 出札と見ると  
(2024年 5月 25日)

述べた。

(3) 米北-云 米側の 在り方と 2、 <sup>1の</sup> 国内対米上

共同声明の 英文は JOINT COMMUNIQUE  
(キ-コン-訪米 訪米 訪米 の如く JOINT STATEMENT <sup>24.5.25</sup>)

とすこととを提案、又も同意、南日報各記の記述

3. 総理訪米 ~~XXXXXXXXXX~~

(1) 議題案

(注) 当方より ~~議題案~~ 議題案 (30日の大任・米大任

会議で正式に渡すもの) 正戸前へ手交し、その租い  
は、スウェーデンライクな高次元の討論 とすことには

あり旨説明、又は検討するに当たっては、フロン  
大任能は先ず細い問題を片す42の、高次元

特に70年代の話しをすりかかぬこと、体系的な  
とありが、反面 議題案にとうかれたい人である

旨、~~旨~~ 如場合にも22は神龍問題が22月日に  
アロ・アツフ する必要がありとも知れたい旨述べた

(注: 30日大任・大任会議録に別添の <sup>省</sup> 略) <sub>有記録別添</sub>

なお、又、大任・大任会議で本件議題案の  
ほか、在米米企業の問題、~~議題案~~ 議題案の在米米基地

人員整理問題につき大使が注の出す旨予告した。

(2) 訪米時のプレス関係問題

(1) 各社、米左 私見、~~米左~~ 米左と前記の上、外国要人  
の訪米の先例に在り、① 会議前のバックグラウンド

フー・スレック (67年々自分おやつ) ② 各会議後 (新聞)  
スホ・クスマン代表とホワイ、ハラス、ローラー 報道官

~~1033~~ 共同でフー・フ ③ 最終会議後 大任能・総理  
が揃って、<sup>(い、米左前年5月21日米左の5月21日以内)</sup> 非公式にプレスに公開、  
(和対内以内ロ・ス・が・チン等通各個人にのりてとる会も増す)

エントウ (と述べて、なお、~~旨~~ 報道官の以上は  
は自分が起草するつもりだが、特に今回の訪米

に712は 双方の新聞の報道、~~米左~~ 米左の旨は、  
は重大な悪影響を及ぼすので、特に慎重に



AGREED PRESS LINES 五 - 一緒に作り作りと述べた。

(1) 当方より 29日 官印側と話しあった <sup>11月</sup> 21日の ~~朝日~~ 記者会見の次オ A 社 七の ~~朝日~~ 社内内政上の

重要性にこそ説明(左と) 2, は 4社(分) 子か, ① 米政府に 22日 日米双方の フォルダ

説明の 加 増 違 3 = と (日本 <sup>NY</sup> 報道 小 社 在 京 大 使 館 以 外 可 通 工 大 能 解 1 = 報 告 5 社 2), A 社

② 米側 フォルダ 22日 24 exclude 2社 = と, 本 最 嫌 右 = と 2 有 本 3, 模 様 の 注 意 加 以 有 本 2 = と

本 2 = と 4 報 記 者 会 見 の 模 様 を 米 記 者 が 別 室 で 通 訳 2 2 = 角 1 3 = 2 2 = と 本 2 = 見 11 社 2 = と

提 専 (本 社, 館 局 2-3 日 行 2 本 国 に 報 告 2 社 2 = と 本 2 = と  
(本 社 当 方 以 飲 理 の 報 記 者 会 見 官 政 ス ー ト ハ ー ト の 連 係 以 米 記 者 に 本 社 MAKE AVAILABLE 方 提 討 1 社 2 = と 本 2 = と 本 2 = と)

秘密表示(朱印)  
極 秘  
無 期 限  
部の内  
号

館長直報

部数指示	発信用	執務用	備 考
主 信	/	0	/
付 属	その他		

発送日  
処理日 昭和44年11月5日  
発信 12タイプ 校 査

文書課長 公 信 案

公信番号 米北 第 1478号 公信日付 昭和 44年11月 5日

大臣 政務次官 事務次官 外務審議官 外務審議官 官 房 長	主管 アメリカ局長 参事官 松原中 北米才一課長	起案 昭和44年11月4日 起案者 千葉 電話番号 443
協議先		
受信者 在米 吉野臨時代理大使	発信者 厚知大臣	
写送付先	(希望発送日) 臨時行のう 月 日	
件 名 沖繩問題記録送付		

GA-2

外務省  
5 1

回覧番号

米北才 1478号

昭和44年11月 5日

在米大使殿

外務大臣

沖繩問題記録送付

下記会談記録写各一部別添送付

す。

なお、この中何れも外部に對し厳に秘

番12...の取扱いには十分留意を要す

念のため。

記

1. 10月29日 東郷アメリカ局長・スチーブン公使会談

GA-4

外務省

2. 10月30日 本大臣・マヤ-大使会談

3. 10月31日 東御マヨカ局長・スチゴ-公使会談

4. 11月4日 東御マヨカ局長・スチゴ-公使会談

付属添付